



■眼科医長 大島 浩一

1, 突然の電話

2017. 6. 8の午後、突然に、NHKのEテレで放送している「きょうの健康」のディレクターと称する女性(Sさん)から電話が入りました。眼瞼下垂をテーマにした番組への出演依頼でした。私は「きょうの健康」を視聴したことはありませんが、医療をテーマにしたバラエティー番組が種々放送されていることは承知しています。「眼瞼下垂であれば、首都圏にも適任者がいるはずだから」と、いったんはお断りしましたが、最終的に引き受けてしまいました。

2, バラエティーではない真面目な番組

友人に依頼して、この番組を録画したDVDを見せてもらいました。テーマは「ドライマウス(口腔乾燥症)」で、歯科の先生が出演されていました。予想に反して(?)真面目な番組構成であり、さすがはEテレと安心しました。

3, 取材

2017. 7. 3と2017. 8. 4の2回にわたり、Sさんが岡山までお出でになりました。それぞれ夕方から2時間程度の取材でした。「岡山は東京に比べて暑いです。さすがは晴れの国ですね。」と、額に汗を浮かべながらおっしゃっていたのが印象的でした。

4, 収録

スタジオ入りは、午後2時からの予定でしたが、羽田空港からNHK放送センターへの移動が予想外にスムーズで(タクシーで30分弱)、午後1時に到着してしまいました。

1)まず打合せ室で、「内容打合せ」を行いました。ディレクターのSさん、司会役の岩田アナウンサー、黒沢アナウンサーと私で、台本のチェックと修正、読み合わせを行いました。2)次に別室でメイクをしてもらいました。顔に白粉のようなもの(?)を塗っていただき、髪をスプレーで固めました。実はこの日のために、私は2週間前に髪を切り、1週間前に歯科で歯石を掃除してもらいました。放送予定は2017. 10. 12(再放送は2017. 10. 19)で、季節は秋ですから、秋物のジャケットと普段は着用することのないネクタイを持参しました。しかし油断して、ショートソックスを履いていたので、生足が映ってしまいました。

3)続いて、スタジオでカメラ・リハーサルです。ここでモニター画面の文字を、指し棒で指すようにとか、出来るだけアナウンサーの方を向いて話すようになどの指摘を受けました。モニター画面や台本の一部も変更になりました。

スタジオでは、テレビカメラを操作する技術員がいて、年配の技術員が若い後輩を指導していました。その場で最年長の技術員は、何と74歳(!)とのことでした。

カメラ・リハーサルが終了した時点で、スタジオ内が蒸し暑いことに気付きました。どうやらエアコンが作動していないようで、Sさんが空調室へ連絡しました。しかしなかなか涼しくなりません。誰かが「きょうの健康」の収録中に熱中症で倒れたら洒落にならない、などと冗談を飛ばしていました。あとで判ったことですが、お昼休みに空調をチェックするためブレーカーを遮断したまま、元に戻すのを忘れていたそうです。この「出待ち」ならぬ「エアコン待ち」で、本番収録が少し遅くなりました。

4)本番収録

本番収録は、概ねスムーズに運びました。少しとちった場面もありましたが、編集段階で修正できるそうです。私は台本をほとんど覚えていなかったの、机の上に置いた原稿を、目を伏せながら読むだけでした。岩田さんと黒沢さんはさすがにプロのアナウンサーです。言葉は明瞭で音量も充分、台本も覚えていらっしゃるようでした。

5, テキスト取材

収録が終了して、打合せ室でテキスト取材を受けました。Eテレではよくあることですが、番組テキストが出版されています。「きょうの健康」でも、1か月分の番組内容を詳細に解説したテキストを作成しており、書店で購入できます。

夕方5時頃には全てのスケジュールが終了し、NHK放送センターを後にしました。私にとっては初めての経験であり、二度と無いことでしょう。ここまで出演にまつわる裏話を並べただけですが、もう紙面を使い果たしてしまいました。番組内容に興味のある方は、放送を視聴するかテキストをご覧ください。駄文にお付き合いいただき、ありがとうございました。